


輸血療法を受けられる

(2日間)

説明医師

様へ

看護師

月日	月 日		月 日		
経過	入院日		退院日		
目標	○心身共に安定した状態で治療を迎えることができる ○輸血治療の流れや注意点が理解できる ○副作用症状が最小限度で経過する ○感染、出血予防行動、貧血時の注意行動ができる		○副作用症状が最小限度で経過する ○感染、出血予防行動、貧血時の注意行動ができる		
検査	身長、体重を測ります 必要時採血を行います 				
食事	朝食は自宅でめしあがってください				
処置・観察	入院時リストバンドを装着します (退院まで装着します) 両上腕のいずれかに輸液ルートの確保を行ないます 体温・脈拍・血圧を測ります 		体温・脈拍・血圧を測ります 退院時にルートを抜去します 退院時リストバンドを外します 		
注射	血液製剤の準備が整い次第輸血投与を行います (必要時アレルギー予防の薬を使用します) 		点滴刺入部位の皮膚やその他異変があればお申し出ください。 		
行動	制限はありませんが点滴刺入部の安静が保てるようご注意ください 				
説明	医師より説明 輸血療法について 		医師より説明 病状について 治療計画について 退院後について 		
	看護師より説明 入院生活について 輸血療法について 		看護師より説明 療養生活について 		

08-D64-1

- * 入院に際してこの用紙を必ずお持ちください。
- * 入院に関して心配事がありましたらお申し出ください。
- * 入院時に栄養状態を評価して栄養管理計画を立てます。また、定期的に栄養状態の再評価を行い計画を見直します。
- * この表はおよその経過をお知らせしたものです。種々の都合により、予定通りではないこともありますので、予めご承知ください。

2021. 6. 1 版

京都第一赤十字病院